

科目名	ITソリューション							年度	2026
英語科目名	IT Solution							学期	後期
学科・学年	情報処理科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小高	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		

**【科目の目的】**

システムエンジニアとしてITを活用したソリューションを提供し、効果的なシステム開発ができるように、その知識や手法を学ぶことを目的とする。最新の技術や業界の動向を理解するために、講義やディスカッションを中心に授業を進める。

**【科目の概要】**

次の点に特に重点を置いて取り組む：  
 最新技術の理解および業界の動向  
 問題解決能力の向上  
 ディスカッション能力の向上  
 レポート作成能力の向上

**【到達目標】**

ルーブリックの各項目でレベル4以上を目指し、習得したスキルを就職活動や卒業制作に活かせることを目標とする。

**【授業の注意点】**

授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業には出席するだけでなく、社会に出ることを前提とした受講マナーで参加することを求める。また、授業の4分の3以上に出席しない場合は、成績評価を行わない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	問題や課題を見つけ、情報に基づいて判断し、解決できるだけでなく、その経験を次の課題につなげることができる	問題や課題を見つけて、情報に基づいて判断し、解決できる	問題や課題を見つけて、情報を基に判断し、周りの人の助けを借りながら解決できる	問題や課題を見つけて、情報を基に判断し、一部は解決できている	問題や課題を見つけて、情報を基に判断しても、十分に解決できていない
到達目標 B	ITの技術動向をよく理解し説明することができる	ITの技術動向をよく理解できている	ITの技術動向を理解できている	ITの技術動向を一部理解できている	ITの技術動向を理解できていない
到達目標 C	ITの業界動向をよく理解し説明することができる	ITの業界動向をよく理解できている	ITの業界動向を理解できている	ITの業界動向を一部理解できている	ITの業界動向を理解できていない
到達目標 D	ディスカッションルールに則り、積極的に発言することができる	ディスカッションルールに則り、発言することができる	ディスカッションルールに則り、周りの意見を聞くことができる	ディスカッションのルールを理解できず、参加できない	ディスカッションに参加できない
到達目標 E	授業で学んだ内容を基に、レポートを作成し、発表し、質疑応答に応じることができる	授業で学んだ内容に基づいて、レポートを作成することができる	周囲のサポートを受けながら、授業で学んだことを基にレポートを作成できる	周囲のサポートを受けながら、授業で学んだことを基に部分的にレポートを作成できる	授業で学んだことを基にレポートを作成することができない

**【教科書】**

無し

**【参考資料】**

LMSを通じて授業資料を配布する

**【成績の評価方法・評価基準】**

毎回の授業における課題への取り組みを評価する。授業の進行状況や理解度に応じて、中間課題および期末課題を実施し、評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ITソリューション			年度	2026
英語表記		IT Solution			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	本講義の概要の解説、受講するにあたってのオリエンテーション	本講義の目的、到達度を理解する	1 本講義の目的	本講義の目的を理解することができる	1	
			2 本講義の到達目標	本講義の到達目標を理解することができる		
2	ITソリューションとは	ITソリューションを理解する	1 ITソリューションとは	ITソリューションを理解することができる	1	
3	ITソリューション事例紹介	ITソリューション事例を知る	ITソリューションの事例紹介	ITソリューションの事例を理解することができる	1	
4	問題解決技法①	問題解決の手法を理解する	1 問題とは	「問題とは」を理解することができる	1	
			2 問題解決とは	「問題解決とは」を理解することができる		
5	問題解決技法②	問題解決の手法を理解する	1 問題解決フレームワークを知る	問題解決フレームワークを理解することができる	1	
6	問題解決技法③	問題解決の手法を理解する	1 問題解決フレームワークを知る	問題解決フレームワークを理解することができる	1	
7	特別講義①	特別講義①	1 特別講義の聴講	特別講義の聴講	1	
			2 聴講のまとめ	聴講したことをまとめあげることができる		
8	ケースディスカッション	特別講義①をもとにグループディスカッション	1 ティスカッションルールについて	ティスカッションルールを理解することができる	1	
			2 ディスカッション①-1	ディスカッション能力の向上		
9	ケースディスカッション	特別講義①をもとにグループディスカッション	1 ディスカッション①-2	ディスカッション能力の向上	1	
10	特別講義②	特別講義②	1 特別講義の聴講	特別講義の聴講	1	
			2 聴講のまとめ	聴講したことをまとめあげることができる		
11	ケースディスカッション	特別講義②をもとにグループディスカッション	1 ディスカッション②-1	ディスカッション能力の向上	1	
12	ケースディスカッション	特別講義②をもとにグループディスカッション	1 ディスカッション②-2	ディスカッション能力の向上	1	
13	レポート作成	総まとめレポート作成①	1 レポート作成の仕方	レポート作成の仕方・ルールを理解できる	1	
			2 レポート作成	これまでの授業内容や理解をまとめることができる		
14	レポート作成	総まとめレポート作成②	1 レポート作成	これまでの授業内容や理解をまとめることができる	1	
15	振り返り・まとめ	第01～14回までの振り返り・まとめを行う	1 振り返り・まとめ	これまで習った内容についての理解度を測る	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等